ハーバード大学視察記

報告：富士吉田教育部教授・教育推進室長　倉田 知光

毎年アメリカのTimes誌は "世界大学ランキング" を発表しています。

昭和大学は2008年世界トップ400位以内に入り、わが国の私立大学では3位、医系大学では本学が唯一ランクインしました。この世界大学ランキングで世界1位に選ばれた大学は米国マサチューセッツ州にあるハーバード大学です。ハーバード大学では本学と同様に初年次全寮制教育を古くから実施しています。また、米国内においても多くのノーベル賞受賞者を輩出している "プリンストン大学"、"ライス大学"、"エール大学" などでも初年次に全寮制を行っています。大学教育における初年次全寮制教育はわが国では極めて稀な教育形態ですが、国際的には非常にスタンダードな、有益な教育形態の一つとして広く認められています。本学においても、40年以上の歴史を持つ初年次学部横断全寮制教育ですが、国際的な水準、教育に関する趨勢や目的、全寮制教育の更なる充実、教育効果の拡大などを目指して、2008年10月ハーバード大学の初年次全寮制教育に関して視察を行い、多くの有益な情報や示唆を頂きました。今後も本学の教育水準の向上、本学の特徴の一つである初年次全寮制教育の更なる充実を目指して、今後も米国のみならず、ヨーロッパなど、初年次全寮制教育を実施している大学より、本学の教育に有益と考えられることをいち早く導入し、学生教育の充実を目指していきます。

▲ハーバード大学の学生食堂（メモリアルホール）

◀初年次全寮制教育を管理している、ハーバード大学 Freshman Dean's Office の Thomas Dingman 氏と共に

クラブ活動紹介 第2回 サッカー部

保健医療学部理学療法学科　中田　貴央君（都立小松川高校出身）

私たちサッカー部は選手26名、マネージャー13名が所属しています。活動は月・火・木曜日に練習していて、授業終了後から夕食まではま全体練習、夕食後はナイターで自主練習という形をとっています。サッカー部では「みんなで盛り上げる」ということをモットーに一人一人が意識して活動しているので練習中は声を出し合って、とても明るい雰囲気で楽しくサッカーをしています。練習メニューは部員が考えていて、ポストシュートやロングパス、センタリング練習、対人、パスゲーム、紅白戦など様々な練習を組み合わせて、その時のチーム状況や課題に応じたメニューで練習を行っています。一部のメンバーで富士山アリーナにて行われた富士山アリーナフットサルカーニバルに出場し優勝、さらに天然芝のグラウンドを持つ富士北麓公園陸上競技場で行われた北麓フットサル大会では準優勝という成績を収めています。

日本ジュニアカーリング選手権大会優勝!!

保健医療学部理学療法学科　藤澤　汐里さん（道立北見北斗高校出身）

わたしは2008年の11月に日本ジュニアカーリング選手権大会に出場し、去年に続き2連覇することができました。もともとカーリングは小さい頃からおこなってきた競技ですが、大学進学を優先して地元の北海道を離れたため、競技を続けることを半ばあきらめていました。しかし、昭和大学の先生方のご理解のおかげで、合宿や大会に参加することができました。勉強の遅れなど大変なことはありますし、やめてしまうことは簡単です。ですが、わたしはあきらめずに今ある環境のなかで続けられるだけ挑戦していきたいと思っています。今の目標は、2009年1月に行われるパンパシフィックジュニアカーリング選手権大会で勝って、世界ジュニア選手権大会に出場することです。これらの経験はきっと将来にも活かすことができると信じて、応援してくださる皆さんのためにも精一杯がんばりたいと思います。

速報! 藤澤さんは1月に行われたパンパシフィックジュニアカーリング選手権大会においても優勝、2009年3月に行われる世界ジュニア選手権大会への出場決定。

白樺・百合

昭和大学だより
第4号　2009.1.28 発行

発行責任者　富士吉田教育部長　片桐　敬
編集責任者　富士吉田教育部教授　喜多村　得也
〒403-0005　山梨県富士吉田市上吉田 4562
TEL 0555-22-4403

倉田知光撮影

富士の風光へのいざない
―38年間の感慨―

教　授　喜多村　得也（ヨーロッパ文化論）

富士吉田校舎が裾野の森林の中開校したのが1965年。26歳の若輩で教壇に立ったのが1971年（昭和46年）です。それから38年の星霜にはむろんさまざまな思い出があるわけですが、一貫して変わらない感慨は校舎をめぐるすばらしい風光です。この間の多くの出会いは、富士をめぐる美しい自然の中に溶け込んで夢か詩のように感じられます。教室のほか私の最も多く過ごしたところは、3号館の三階研究室です。建物はほぼ私と同じ勤務年数でついに老朽化してきました。それでも西窓からの三つ峠山や黒岳に続く連嶺の景色は変わりません。冬には荘厳な雪の冠を連ね谷は白銀の筋に刻み、初夏には重厚な緑樹の山腹に包まれます。遠く甲府盆地の空に立つ山脈から目を落とすと、近代建築のすみれ寮と第二白樺寮が近く大きいです。芝桜畑をバックにサッカーに興じる学生の姿とかけ声。白樺林の間に、躍動する学生たち。その姿を窓際に伸びる数本のソメイヨシノの葉のそよぎを通して感じます。この桜は、フジザクラの森藤の開花を追うようにして爛漫と咲き匂います。春の希望に咲き、そして散り、葉桜となります。芽ぐんでいた唐松は6月になると緑色の群葉を陽光に映えさせ、また梅雨を静かに滴らせます。その葉ほど、あでやかな緑はないでしょう。テニス場付近の野や林には、すみれやタンポポが慎ましく微笑んでいます。この季には月見草も松虫草もグミの実も発見できます。冬季には樹木は落葉しますが、3号館の庭には常緑樹が二種あります。赤松とモミの木です。夕日に映えた赤松の幹の美しさは格別です。モミの木は真っ直ぐな幹と枝で、雪中でもゆるぎない針葉を空に向けています。ドイツ民謡では「誠実」の比喩として讃えています。

しかし、大自然から観れば落葉も常葉も同一の法則の現れでしょう。空気と水そして土という精妙なエレメントを通して大自然は、その生命のリズムを植物として多様に現象させているのでしょう。陽光こそ生命の源であるとすれば、冬の様相は違っても、陽光を慕いそれに向かう質は一貫しています。こういう生命的風光を高く広く担い、しかも超絶しながら全てを見守り育てている唯一者のしるしが霊峰富士山ですね。みなさん、富士の裾野で、富士山を観て、医療を、人間を、そして大自然を学んでみませんか。

地域交流イベント開催

12月13日に近隣のふじざくら支援学校の児童や生徒さん達を富士吉田校舎へ招待して交流会が開催されました。企画や運営はすべて学生ボランティア達だけで作り上げたもので、当日は体を動かす運動グループと、クリスマスも近いこともありフェルトやビーズを用いてツリーを制作するグループとに分かれての活動となりました。そして食堂ではMASやグリークラブによる演奏会、さらに田中一正教授扮するサンタクロースが登場し参加した児童や生徒さん達にお菓子を運んできてくれるといったサプライズもありました。子供達の笑顔が大変印象に残った1日でした。

医学部　岩谷　綾香さん（豊島岡女子学園高校出身）

月に一度の活動では、用意されたものに参加するばかり。山梨県立ふじざくら支援学校の生徒さんたちと一緒に行ってきた土曜日の余暇活動〈サタデークラブ〉も12月13日で最後となり、今回、初めて企画・運営する側に回ることになりました。

ふじざくらには肢体が不自由な生徒もいれば、知的障害のある生徒もいます。活動の最大の目標が「みんなで楽しむ！ 有意義な時間を共有する！」ことでしたので、生徒さんは勿論、昭和大や健康科学大の学生みんなが満足できるものを、と話し合いを重ね、何度も企画を練り直しました。その結果、グリークラブ・MASの協力を得て豪華な企画が実現しました。生徒さんたちの反応も上々。活動中の生き生きとした表情を見ることが出来て、とても嬉しかったです。

今回の活動ではバリアフリーの難しさを考え直したり、ふじざくらの生徒さんの個性や動きぶりに驚いたりと学ぶことが多くありました。また、呼び掛けに応じて快く仕事を引き受けてくれる委員・教職員の方々、労りの言葉をくれる友人など、周囲の協力や応援のありがたさを改めて感じることが出来ました。これからに繋がる、貴重な時間を過ごすことが出来たと実感しています。

クリスマスパーティー開催

毎年恒例の富士吉田校舎クリスマスパーティーが12月12日・13日の2日間で開催されました。メイン会場となる第一講堂や食堂には、装飾係の学生達が心を込めて作った飾りにより、一足早いクリスマスの雰囲気を楽しむことができました。当日は歌やダンスの発表、昼食時にはビンゴ大会を行うなど大いに盛り上がりました。また、13日夜のフィナーレでは打ち上げ花火が上がり、冬の透き通った空に花火が上がると学生達からは寒さを吹き飛ばすほどの大きな歓声と拍手が沸き起こりました。学生は残り少ない寮生活のいい思い出になったのではないでしょうか。

歯学部　田村 明日香さん（筑波大学付属高校出身）

フィナーレの花火が打ちあがった瞬間、ダンスでの舞台化粧も気にせずと、涙が次から次へと溢れてきた。片づけをしていた第一講堂のベランダで、一番支えてくれた副委員長や部門長達と並びその時を過ごしていた。

12月12日に前夜祭、13日にクリスマスパーティーが行われた。寮祭と並ぶ昭和大学吉田寮生活での2大イベントの1つである。そして、私達クリパ実行委員は2ヶ月前からその活動を続けていた。企画書製作から始まり、イベント企画・花火・タイムスケジュール・装飾、全てが私達に託されたものだった。とにかく毎日走り回って、会合で・電話で・メールで何回も話し合い目の回るような毎日であった。そして当日を迎えた。白熱する部内対抗戦。声をハモらせ音を重ね合うアカペラ。寮ごとの結束を胸に笑い合いながら踊り合う姿。学生とともに盛り上がる先生方。

出演している人の、観客として見ている人の、学生の、その弾けんばかりのキラキラした笑顔を見て、この実行委員長としてこの場を作り上げられたこと、疲れも忙しさも全てが喜びに変わった。

そして、この気持ちを伝えようと口を開こうとして、一緒に頑張ってきた実行委員と顔を見合わせたとき、その必要はないということを感じた。

クリスマスパーティーの日、吉田は沸き立ち1つになっていた。

学生たちの吉田ライフ

学生達の生活にスポットを当て授業以外で学生達がどのような生活をしているかを紹介します。

【Q&A】

Q　ATMはありますか？

A　校舎内にATMはありません。預金の引き出し等は最寄りのコンビニエンスストア（校舎から徒歩10分程度）で行なって下さい。

Q　交通手段はバスの他にあるのですか？

A　各寮に10台程度、自転車を用意していますので利用してください（冬期期間除く）。また富士吉田校舎において自動車、オートバイの持ち込み及び運転は免許を所持していてもできません。

Q　寮生活なのでやはり門限などあるのでしょうか？

A　門限は毎日午後10時となります。午後10時になると寮監さんが各寮にて点呼を行います。

医学部　藪崎　亮君
（山梨県立甲府東高校出身）

保健医療学部看護学科　近澤 麻美さん
（栃木県立真岡女子高校出身）

7:00
起床→朝食→準備

朝食後、身支度を整えて授業へ向かいます

→ 9:00～10:25 1限目授業 / 10:35～12:00 2限目授業 →

12:00～13:15
昼休み・昼食

しっかりと昼食も摂って午後の授業に臨みます

→ 13:15～14:40 3限目授業 / 14:50～16:15 4限目授業 →

16:15～
放課後（フリータイム）

今日は外までお買い物
校舎からバスも出ています

16:30
図書館にて自習

仕切り付き個人学習机で集中して勉強ができます

→

17:50～18:45
夕食

おいしいご飯に自然と会話も弾みます

→

19:00　→　20:00
お買い物　　入浴

生活用品などは校舎内にある生協で購入することもできます

→

21:00～
自室にて明日の予習

次の授業のために予習は欠かせません

【学生さん一問一答】

Q　部活動はしていますか？

A　医学部硬式野球部に所属しています。他にも1年生のうちは様々な部活動を経験することができます（藪崎くん）

Q　授業のない休日はどのようなことをしているのですか？

A　買い物に行ったり、部屋でゆったりと過ごしています（近澤さん）

Q　寮生活を経験してどのように感じますか？

A　とにかく楽しいの一言です！また、とても貴重な経験をしていると感じています（藪崎くん）

A　いつでも友達が周りにいるから毎日がとても楽しいです（近澤さん）